

2017 年度第 1 四半期決算

参考和訳

プレスリリース
2017 年 5 月 3 日、パリ発

事業部門が好業績を収める

事業部門の営業収益：前年同期比 **+7.0%**
事業部門の営業総利益：前年同期比 **+12.5%**

リスク費用は当四半期に大幅減少

前年同期比 **-21.8%** (32 bp*)

株主帰属純利益が増加

(一時項目は前年同期と比べて限定的)

株主帰属純利益：18 億 9400 万ユーロ (前年同期比 **+4.4%**)
(一時項目を除くと **+13.2%**の増益)

エクイティ TIER 1 比率が引き続き上昇**

11.6% (2016 年 12 月末現在 11.5%)

堅実な業績

* リスク費用 ÷ 期首顧客向け融資残高 (年換率算後のベースポイント) ; ** 2017 年 3 月末現在。資本要求指令 4 (CRD4) を全面適用した比率



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



2017年5月2日にBNPパリバの取締役会が開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2017年度第1四半期の業績が検討されました。

着実な事業の成長およびエクイティ TIER 1 比率が引き続き上昇

BNP パリバ・グループは当四半期に好業績を収めることにより、その統合され多様化したビジネスモデルの強みを証明しました。

営業収益は、当四半期に計 112 億 9700 万ユーロに上り、前年同期と比べて 4.2%の増収となりました。当四半期の営業収益には、新韓金融持株会社株の売却により生じた一時的な影響として+1 億 4800 万ユーロの譲渡益が含まれており、また、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するために行う調整額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務評価調整額（Debt Value Adjustment: DVA）が合計で-700 万ユーロ含まれていました（対して、前年同期は+3 億 6500 万ユーロ）。

事業部門全体の営業収益は、当四半期に前年同期と比べて 7.0%の増収を果たしました。事業部門別では、国内市場部門¹の営業収益は、低金利環境を受けて前年同期比 0.3%の微減となった一方、国際金融サービス部門では、5.8%の増収でした。また、ホールセールバンキング事業（CIB）では、2016 年度第 1 四半期の極めて困難な市場環境の反動もあり、当四半期の営業収益は前年同期比 20.0%の急回復を果たしました。

営業費用は、当グループ全体で 81 億 1900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 6.5%増加しました。当四半期の営業費用には、買込に関わる一過性の事業再編費用²として 2000 万ユーロ（前年同期は 2300 万ユーロ）が含まれていたのに加え、事業改編計画に関わる費用として 9000 万ユーロ（前年同期は 2300 万ユーロ）が含まれていました。なお、当四半期の事業改編費用は、数々の意欲的なプログラム導入の効果により、依然として限定的な水準に留まりました。

また、当四半期の営業費用には、銀行税および拠出金が合計で 9 億 7900 万ユーロ（前年同期は 8 億 8000 万ユーロ）含まれていますが、これは IFRIC 解釈指針第 21 号「賦課金」に基づき、当事業年度に関わる賦課金の全額を当四半期に一括費用計上したものです。よって、同金額にはとりわけ、2016 年度第 2 四半期および第 3 四半期に発生した、合計で 8400 万ユーロ³に上る銀行税および拠出金の増額分が含まれています。

事業部門全体では、当四半期の営業費用は前年同期と比べて 4.9%増加しました：国内市場部門¹で 2.2%増加；国際金融サービス部門で 2.6%増加；CIB では、前年同期の低水準と比べて 11.0%の増加。事業部門の営業費用には、前出の IFRIC 第 21 号の適用による影響に加え、国際金融サービス部門および CIB の事業成長の影響が反映されています。

これらを受けて、当グループの営業総利益は、前年同期比 1.2%減少して 31 億 7800 万ユーロとなりました。なお、事業部門全体では、当四半期の営業総利益は前年同期比 12.5%の増加を果たしました。

リスク費用は当四半期に低水準に留まり、5 億 9200 万ユーロで（前年同期は 7 億 5700 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 32bp 相当でした。このような前年同期比 21.8%の減少にはとりわけ、ローンオリジネーション業務でリスク管理効果が発揮されたことに加え、低金利環境、および、イタリアで優良法人顧客向け融資の見直しが特に奏功し、引き続き状況が改善したことが反映されています。

当グループの営業利益は、前年同期から 5.1%増加して、当四半期に 25 億 8600 万ユーロとなりました（前年同期は 24 億 6000 万ユーロ）。事業部門全体では、前年同期比 26.4%の大幅増となりました。

営業外項目は、当四半期に 1 億 6800 万ユーロとなりました（前年同期は 1 億 7800 万ユーロ）。

これらを受けて、当四半期の税引前利益は前年同期比 4.4%増加して 27 億 5400 万ユーロとなり、これに対して前年同期は 26 億 3800 万ユーロでした。事業部門全体では、当四半期の税引前利益は前年同期と比べて 25.1%の急増を果たしました。

¹ 国内市場部門のプライベート・バンキングの 100%を含む（PEL/CEL の影響を除く）

² 特に LaSer、BGZ 銀行、DAB バンク、および General Electric LLD が影響

³ 単一破綻処理基金への拠出金について、2016 年度第 2 四半期に決定された増額分（6100 万ユーロ）、および、ベルギーにおいて 2016 年度第 3 四半期に、貸付業務を行う金融機関に対して導入された新税（2300 万ユーロ）

以上から、当四半期の株主帰属純利益は 18 億 9400 万ユーロに上り、前年同期と比べて 4.4%の増益でした。なお、一時項目を除くと¹、当四半期の株主帰属純利益は 18 億 1800 万ユーロとなります（一時項目を排除した前年同期と比べて+13.2%）。

自己資本利益率は、一時項目を除くと、当四半期に 10.4%となりました。また、有形自己資本利益率は、一時項目を除いたベースで当四半期に 12.3%となりました。

2017 年 3 月末現在、バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率²は 11.6%となりました（2016 年 12 月末は 11.5%）。バーゼル 3 全面適用のレバレッジ比率³は、2017 年 3 月末現在で 4.1%でした。流動性カバレッジ比率（LCR）は、2017 年 3 月末現在で 125%となりました。さらに、当グループの即時利用可能な余剰資金は 2017 年 3 月末で 3450 億ユーロ（2016 年 12 月末は 3050 億ユーロ）に上りましたが、これは短期資金調達との関係で 1 年超の余裕資金があることを意味します。

1 株当たり純資産額は 2017 年 3 月末現在で 75.1 ユーロとなり、2008 年 12 月末からの年平均成長率（CAGR）は 6.2%に相当します。これは、当グループが景気局面を通して継続的に企業価値を創造する能力を有していることを証明しています。

また、当グループは、米司法当局との包括的和解の一環として合意された是正計画を積極的に実施するとともに、コンプライアンスおよび内部統制手続きの強化を継続しています。さらに、当グループは、以下を達成すべく企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility: CSR）に関わる意欲的な方針を実行に移しています：倫理的な方法で経済に資金を供給；良い変化を目指して働きかける主体となる；従業員の育成や啓蒙を通して気候変動に立ち向かう。その一環として当グループは、温暖効果ガス排出に関して、自己の活動についてカーボンニュートラルになることを決定したところです。

*
* *

¹ 一時項目による税引後ベースの影響：当四半期は +7600 万ユーロ；前年同期は+2 億 800 万ユーロ

² 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮した比率

³ 2019 年に完全施行される CRD4 規則を経過措置なしで全て考慮し、また 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき算定された比率

リテールバンキングおよびサービス事業

国内市場部門

国内市場部門は、当四半期も活発な業務活動を維持しました。融資残高は前年同期と比べて **5.2%**増加し、個人および法人顧客向け貸出が順調に伸びました。預金残高は、国内ネットワークの全体にわたり力強い伸びを示したことから、前年同期と比べて **9.1%**増加しました。プライベート・バンキング業務の活動成果は、運用資産残高が **2016年3月末比で8.0%**増加したことに現れています。また、Hello bank! が事業開発を継続し、その顧客数は **260万**口に上りました。

国内市場部門は当四半期に、フランスの **Compte-Nickel** の買収¹を発表しましたが、これにより、銀行業務の新分野を開拓すべく設計された組織の強化が期待されます。**Compte-Nickel** は、フランスのタバコ販売業者の業界団体である **Confédération des Buralistes** との独占的な提携関係を延長しています。このような **Compte-Nickel** を買収することにより、国内市場部門は、Hello bank! と併せて、リテール分野におけるデジタルバンキングの商品群と支店網において、様々な顧客セグメントのニーズに対応できる幅広い充実したソリューションを揃えることができるでしょう。**Compte-Nickel** は、業務開始以来の過去 **3年**間のうちに **54万**口を超える口座を開設するに至り、フランス社会の幅広くかつ多様な層を対象に真の成功を収めています。取引がリアルタイムで遂行され、また処理が完全デジタル化されていることが、**Compte-Nickel** の成功の主要因となっています。今後の目標は、新規顧客の獲得を加速化し、**2020年**までに **200万**口の口座開設を目指します。

営業収益²は、当四半期に **39億5200万ユーロ**となり、前年同期と比べて **0.3%**の若干の減収でした。その背景には、低金利環境によるマイナス影響が、事業成長による増収効果を上回ったことがあります。それでも、当事業部門は、国内ネットワークの全体にわたり手数料収入の増加を果たしました。

営業費用²は **28億8000万ユーロ**となり、前年同期比 **2.2%**増加しました。なお、IFRIC 第21号³による影響を除くと、当四半期の営業費用は、コスト抑制効果を反映して前年同期比 **0.8%**の微増に留まります。

これらを受けて、営業総利益²は前年同期比 **6.4%**減少して **10億7200万ユーロ**となりました。

リスク費用は当四半期に前年同期比 **20.0%**の大幅減少を果たしましたが、これにはとりわけ **BNL** バンカ・コメルシアレにおける大幅減が貢献しました。

以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の **3分の1**を、ウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益⁴は前年同期と比べて **2.5%**増加して **7億700万ユーロ**に上りました。

フランス国内リテールバンキング (FRB)

フランス国内リテールバンキング (FRB) は、当四半期に事業展開を積極的に押し進めました。融資残高は、個人および法人顧客向けの貸出が順調に回復したことから、前年同期の低水準と比べて **7.1%**増加しました。預金残高は、当座預金の高い伸びが牽引し、前年同期と比べて **12.0%**増加しました。オフバランス貯蓄商品が健闘した結果、**2016年3月末**の水準と比べて、ミューチュアルファンドの残高が **13.9%**増加し、また生命保険の保有契約高は **3.8%**増加しました。さらに、プライベート・バンキングの運用資産残高は **10.7%**の高い伸びを果たしました。また **FRB** は、以下のようにデジタルバンキング事業を引き続き拡大しました：**Hello bank!** の事業開発は順調に推移し、その顧客数は既に **30万2000**口に達しています（**2016年3月末**と比べて**+17%**）；モバイルフォンによる非対面決済サービスである **Paylib** の提供を開始しました。

¹ 買収契約の調印は **2017年度第2四半期**を予定。規制当局の承認を要する

² フランス（**PEL/CEL**の影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの **100%**を含む

³ **2016年度第2四半期**および**第3四半期**に発生した、拠出金および銀行税の増加分を当四半期に費用計上したことが特に影響

⁴ **PEL/CEL**の影響を除く（当四半期は **-200万ユーロ**、対して、前年同期は **+1800万ユーロ**）



営業収益¹は当四半期に 16 億 2000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 1.4%の減収でした。純利息収入¹は、長引く低金利環境の影響で前年同期比 4.4%減少しました。手数料収入¹については、とりわけ金融手数料の増加を受けて、当四半期に 2.7%増加しました。

営業費用¹は当四半期に 11 億 8400 万ユーロとなり、前年同期比 0.9%増加しました。なお、IFRIC 第 21 号の影響²を除くと、営業費用の増加幅は 0.5%に留まります。

これらを受けて、当四半期の営業総利益¹は 4 億 3600 万ユーロとなり、前年同期と比べて 7.2%減少しました。

リスク費用¹は当四半期に 7900 万ユーロで依然として低い水準に留まり（前年同期は 7300 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 21bp 相当でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRB の税引前利益³は当四半期に 3 億 1900 万ユーロとなり、前年同期と比べて 11.2%の減益でした。販売およびマーケティング活動が順調に回復した一方で、長引く低金利環境がこれに悪影響を及ぼしました。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) の融資残高は、個人および法人顧客向け貸出が伸びたおかげで、当四半期に前年同期比 2.3%増加しました。預金残高は、当座預金の急増を受けて前年同期比 11.3%の増加を果たしました。BNL bc はオフバランス貯蓄商品で好業績を収め、2016 年 3 月末と比べ保険の保有契約高は 8.5%増加し、またミューチュアルファンドの残高は 12.4%増加しました。BNL bc は当四半期にデジタルバンキング事業を引き続き拡大した結果、BNL bc のモバイルバンキングアプリ（オンラインバンキング、証券仲介サービス、決済サービス）のダウンロード数は既に 50 万を超えています。

営業収益⁴は、当四半期に前年同期から 1.3%減少して 7 億 2700 万ユーロとなりました。純利息収入⁴は、長引く低金利環境の影響を受けて当四半期に 5.5%減少しました。一方、手数料収入⁴は、オフバランス貯蓄商品およびプライベート・バンキングの開発が順調に進み、前年同期比 6.7%の回復を遂げました。

営業費用⁴は当四半期に 4 億 6900 万ユーロに上り、前年同期から 1.6%増加しました（IFRIC 第 21 号の影響を除くと+1.2%）。

これらを受けて、営業総利益⁴は当四半期に 2 億 5800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 6.2%減少しました。

当四半期のリスク費用⁴は顧客向け融資残高の 115bp 相当となり、前年同期の水準から 4600 万ユーロ減少しました。その背景には、貸出ポートフォリオの質が徐々に改善したことがありました。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bc の税引前利益は当四半期に 1800 万ユーロとなり、前年同期の水準から 2600 万ユーロの増益となりました。

¹ フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む（PEL/CEL の影響を除く）

² 2016 年度第 2 四半期にコーポレート・センターで認識された、単一破綻処理基金への拠出金の増額分を当四半期に費用計上

³ PEL/CEL の影響を除く（当四半期は -200 万ユーロ、対して、前年同期は +1800 万ユーロ）

⁴ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む



ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) は、当四半期に引き続き積極的な営業活動を展開しました。融資残高は、法人顧客向け貸出の順調な伸びに加え住宅ローンも伸びたことから、前年同期と比べて 4.7%増加しました。一方、預金残高は、特に当座預金の高い伸びのおかげで当四半期に 3.8%増加しました。

営業収益¹ は当四半期に前年同期比 1.5%の増収となり、9 億 3100 万ユーロに上りました。純利息収入¹ は、融資残高の増加によるプラス効果を、低金利環境のマイナス影響が一部打ち消した格好で、前年同期比 0.6%増加しました。手数料収入¹ は、事業の成長を反映して前年同期比 4.4%増加しました。

当四半期の営業費用¹ は、前年同期比 4.0%増加して 8 億 2300 万ユーロとなりました。なお、IFRIC 第 21 号の影響² を除くと、確かなコスト管理を反映し、営業費用の増加幅は 0.2%へと縮小します。

これらを受けて、当四半期の営業総利益¹ は 1 億 800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 14.0%減少しました。

リスク費用¹ は、引当金繰入額が戻入益によって相殺されたため、当四半期はゼロでした。なお、前年同期のリスク費用は 2100 万ユーロでした。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務 (国際金融サービス部門) へ配分した後、BRB の税引前利益は当四半期に 9600 万ユーロに上り、前年同期と比べて 9.5%の増益を果たしました。

その他国内市場部門 (アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング)

国内市場部門の専門的金融業務は、全体的に力強い事業展開を押し進めました。アルバルでは、業務活動を高水準で維持した結果、ファイナンス・フリートが高い伸びを示し、契約台数は前年同期比 7.3%増加しました。リーシング・ソリューションズでは、事業が順調に伸びたことからリース残高が増加しました (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いたベースで、前年同期比+6.1%)。個人投資家部門では、新規顧客の獲得が順調に進みました。

ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、住宅ローンおよび法人向け貸出の伸びに支えられて、融資残高が前年同期比 2.4%増加しました。預金残高は、とりわけ法人顧客セグメントで旺盛な資金流入があったことから、前年同期と比べて 20.3%の大幅増となりました。

営業収益³ は、その他国内市場部門全体で前年同期比 1.2%の増収となり、6 億 7400 万ユーロに上りました。非経常項目を除くと、当四半期の営業収益は 2.8%の増収となりますが、これには個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキングおよびアルバルが貢献していました。

営業費用³ は、前年同期と比べて 3.1%増加して 4 億 500 万ユーロとなりました。なお、IFRIC 第 21 号の影響⁴ を除くと、営業費用は事業開発を反映して当四半期に 2.4%増加しました。

リスク費用³ は、前年同期から 1800 万ユーロ減少し、当四半期は 1400 万ユーロとなりました。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務 (国際金融サービス部門) へ配分した後、これら 4 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、当四半期に 2 億 7400 万ユーロに上り、前年同期と比べて 9.0%の急増を果たしました。

¹ ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む

² 2016 年度第 3 四半期に発生した、貸付業務を行う金融機関に対して導入された新税を当四半期に費用計上したことが特に影響

³ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100%を含む

⁴ 2016 年度第 2 四半期にコーポレート・センターで認識された、単一破綻処理基金への拠出金の増額分を当四半期に費用計上したことが特に影響

*
* *

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門は、以下のように積極的な販売およびマーケティング活動を展開しました：パーソナル・ファイナンスは活発な業務活動を維持し、また、GM ヨーロッパ (General Motors Europe) の自動車金融部門を PSA グループと共同買収することで合意しました；欧州・地中海沿岸諸国部門およびバンクウエストは、順調に事業活動を拡大しました；保険およびウェルス&アセット・マネジメントでは、旺盛な資金流入を獲得しました。

営業収益は、当四半期に 39 億 900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 5.8%の増収を果たしました。パーソナル・ファイナンス、欧州・地中海沿岸諸国部門、およびウェルス&アセット・マネジメントの営業収益が順調に伸びました。保険部門では、2016 年度第 1 四半期の極めて厳しい市場環境に見舞われた低い水準と比べて、営業収益が大幅に回復しました。

当四半期の営業費用は 25 億 600 万ユーロとなり、前年同期比 2.6%増に留まったことから、全体的に正のジョーズ効果を生み出しました。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に 14 億 400 万ユーロに上り、前年同期比 11.9%の増加となりました。

リスク費用は 3 億 1500 万ユーロの低水準となり、前年同期から 2500 万ユーロ減少しました。

これにより営業利益は当四半期に 10 億 8900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 19.0%増加しました。

以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は当四半期に 12 億 2200 万ユーロに上り、前年同期と比べて 16.2%の大幅増益を果たしました。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは当四半期に、GM ヨーロッパの自動車金融部門を PSA グループとの共同で買収すると発表しました¹。買収金額は、同自動車金融部門の資本金の 50%に対して 4 億 5000 万ユーロで合意されましたが、これはプロフォーマ純資産額の 0.8 倍に相当します。PSA とのパートナーシップ契約に基づき、BNP パリバは当該合弁企業を連結子会社とします。GM ヨーロッパの金融事業は、欧州 11 か国において 1,800 近くの自動車ディーラーの金融ニーズに対応しており、2016 年末現在の融資残高は約 96 億ユーロに上っています。このうち、およそ 58 億ユーロが預金または証券化によって賄われています。

パーソナル・ファイナンスではまた、既存事業を通じた成長が極めて順調に持続しました。融資残高は、ユーロ圏における借入需要の高まりと新たな提携関係の効果を受けて、当四半期に前年同期比 11.2%増加しました。さらに事業開発計画に基づき、パーソナル・ファイナンスは新分野や（例：フランスで TUI グループと観光業で提携）、新たな国々で（例：オーストリアにおいてホームファニングで提携）、当四半期にパートナーシップを締結しました。

営業収益は、融資残高の増加およびより優良なリスクプロファイルを伴う商品へのシフトが奏功し、前年同期比 4.5%増加して 12 億 100 万ユーロに上りました。とりわけイタリア、スペインおよびドイツでの健闘が営業収益を押し上げました。

¹ 買収契約の調印は 2017 年度第 4 四半期を予定。規制当局の承認を要する



営業費用は、前年同期比 4.1%増加して 6 億 3400 万ユーロとなりました。なお、IFRIC 第 21 号の影響¹を除くと、当四半期の営業費用は事業開発を反映して 3.3%増加しました。

これらを受けて、当四半期の営業総利益は 5 億 6800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 5.0%増加しました。

リスク費用は、当四半期に 2 億 4000 万ユーロの低水準に留まり（前年同期は 2 億 2100 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 146bp 相当でした。これには低金利環境に加え、より優良なリスクプロファイルを伴う商品へのシフト傾向（特に自動車ローン）が寄与しました。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、当部門の意欲的な営業活動を反映して、当四半期に 3 億 5300 万ユーロに上り、前年同期比 6.1%の増益を果たしました。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門では、事業が順調な伸びを持続しました。融資残高は、全ての地域で着実に伸びたことから、前年同期比 5.4%²増加しました。同様に、預金残高は前年同期から 11.1%²の増加を果たしました。当部門は引き続きデジタルサービスの開発を押し進めた結果、トルコで CEPTETEB の顧客数が 38 万口を超えるに至り、またポーランドでは BGZ OPTIMA の顧客数が 20 万 5000 口を上回りました。

営業収益³は、融資残高の増加を受けて当四半期に 5 億 9200 万ユーロに上り、前年同期と比べて 6.2%²の増収でした。

当四半期の営業費用³は、事業開発を反映して 4 億 2400 万ユーロとなり、前年同期比 4.9%²増加しました。

リスク費用³は当四半期に 6700 万ユーロで（前年同期は 9600 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 70bp 相当でした。なお、当四半期のリスク費用は、4000 万ユーロに上る引当金戻入益の恩恵を受けています。

以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に 1 億 4900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 28.2%⁴の大幅増益を果たしました。

バンクウエスト

バンクウエストは、当四半期も積極的な事業展開を押し進めました。融資残高は、法人および個人顧客向け貸出が引き続き伸びたことから、前年同期比 7.7%²増加しました。預金残高は、当座預金および普通預金の急増を受けて、前年同期比 11.4%²増加しました。

当四半期はまた、市場でファースト・ハワイアン・バンク（FHB）の 20.6%の株式売出しを成功裡に実施した、記念すべき四半期となりました。これにより、当グループの FHB に対する保有比率は 62.0%へと低下しましたが、FHB は当グループが支配権を維持する限り、今後も連結子会社となります。

営業収益⁵は当四半期に 7 億 6100 万ユーロとなり、前年同期比 5.0%²の減収でした。なお、前年同期の営業収益には、有価証券および債権の売却により、高水準の譲渡益が含まれていました。この嵩上げ効果を排除すると、当四半期の営業収益は、融資残高の伸びを受けて前年同期比 5.3%の増収となります。

¹ 2016 年度第 2 四半期にコーポレート・センターで認識された、単一破綻処理基金への拠出金の増額分を当四半期に費用計上したことが特に影響

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ トルコのプライベート・バンキングの 100%を含む

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると、為替が不利に動いたため、+13.5%）

⁵ 米国プライベート・バンキングの 100%を含む

営業費用¹は当四半期に 5 億 5600 万ユーロとなり、確かなコスト管理を反映して前年同期比 0.8%²の増加に抑えられました。

当四半期のリスク費用¹は 2200 万ユーロで（前年同期は 2500 万ユーロ）依然として低い水準に留まり、顧客向け融資残高の 13bp 相当でした。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は当四半期に 1 億 7700 万ユーロとなり、前年同期比 23.1%³の減益でした。なお、前年同期に計上された有価証券および債権の譲渡益による嵩上げ効果を排除すると、当四半期の税引前利益は 16.0%⁴の増益になります。

保険およびウェルス&アセット・マネジメント

保険およびウェルス&アセット・マネジメント部門の運用資産残高⁵は、2017 年 3 月末現在で 1 兆 420 億ユーロに上り、2016 年 3 月末と比べて+10.4%増加しました。また、運用資産残高は 2016 年 12 月末から 320 億ユーロ増加しましたが、これにはとりわけ 152 億ユーロに上る極めて高水準の資金純流入があったことに加え、161 億ユーロに上る良好な運用パフォーマンス効果が貢献しました。なお、152 億ユーロの資金純流入の要因として以下が挙げられます：ウェルス・マネジメントでは旺盛な資金流入がありましたが、特にフランスの貢献が顕著でした；アセット・マネジメントでも高水準の資金流入があり、特に分散型ファンド、マネーマーケットファンド、および債券ファンドがその恩恵を受けました；保険部門では、特にユニットリンク保険への資金流入が順調でした。

2017 年 3 月末現在、運用資産残高⁵の部門別内訳は以下のとおりでした：アセット・マネジメントは 4330 億ユーロ；ウェルス・マネジメントは 3550 億ユーロ；保険部門は 2300 億ユーロ；不動産管理部門は 240 億ユーロ。

当四半期における保険部門の販売およびマーケティング活動の成果は、三井住友信託銀行との提携関係を強化⁶したことに現れています。かかるパートナーシップは、とりわけ、その販売網の強みをテコに日本で新たな保険商品の発売を目標としています。

保険部門では、営業収益は当四半期に 5 億 9700 万ユーロに上り、極めて困難な市場環境にあった 2016 年度第 1 四半期の低水準と比べて 31.0%の大幅増収となりました。これには保障保険が好業績を収めたことに加え、アジアで貯蓄型保険が回復したことが貢献しました。営業費用は、順調な事業開発を反映して、当四半期に 3 億 2600 万ユーロで 5.5%増加しました。以上から、当四半期の税引前利益は 3 億 2600 万ユーロに上り、前年同期と比べて 63.8%と大幅に増加しました。

ウェルス&アセット・マネジメント部門では、全ての業務部門で増収となり、当四半期の営業収益は 7 億 7300 万ユーロに上りました。その結果、不利な市場環境に見舞われた 2016 年度第 1 四半期との比較で 7.0%の増加となりました。営業費用は当四半期に 5 億 7600 万ユーロで前年同期比 1.6%の増加に留まったことから、正のジョーズ効果が生み出されました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国からプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当四半期に 2 億 1700 万ユーロに上り、前年同期と比べて 29.7%の大幅増益を果たしました。

*
* *

¹ 米国プライベート・バンキングの 100%を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると -19.8%）

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると +23.8%）

⁵ 分配金を含む

⁶ 関係当局による許認可を要する

ホールセールバンキング事業 (CIB)

ホールセールバンキング事業 (CIB) は、当四半期に極めて好調な業績を収めました。

営業収益は、当四半期に 32 億 2300 万ユーロに上り、不利な市場環境に見舞われた 2016 年度第 1 四半期との比較で 20.0%増収の急回復を遂げました。

グローバルマーケット部門の当四半期の営業収益は 17 億 5400 万ユーロに上り、前年同期と比べて 33.1%の大幅増収となりました。とりわけ顧客業務は、2016 年初頭の極めて厳しい市場環境における業績から大幅に回復しました。

FICC¹ (フィクストインカム・通貨・コモディティ) 業務の営業収益は、当四半期に 11 億 7400 万ユーロに上り、前年同期と比べて 31.9%の増収でした。金利業務が高い伸びを示し、為替およびコモディティ業務が好業績を収め、さらに、クレジットおよび債券引受業務は着実に成長を遂げました。その結果、当業務部門は、ユーロ建て全債券で第 1 位、また全国際債券で第 9 位にランクインしました。株式およびプライムサービス業務については、プライムサービスの高い伸びに加え、デリバティブ業務が回復したことから、営業収益は当四半期に 5 億 8000 万ユーロに上り、前年同期と比べて 35.5%の急増を果たしました。

市場リスクを測定するバリュー・アット・リスク (VaR) は、3100 万ユーロの極めて低い水準に留まりました (対して、前年同期は 4300 万ユーロ)。当業務部門はまた、引き続き資源の最適化を図り、25 億ユーロのリスク加重資産に相当する採算性の低いポートフォリオを売却しました。

セキュリティーズ・サービス部門 (証券管理部門) の営業収益は、好調な事業開発を受けて当四半期に 4 億 7800 万ユーロに上り、前年同期比 8.5%の増収でした。カストディ業務の受託資産が前年同期比 10.1%増加したことに加え、約定件数は前年同期から 7.0%増加しました。さらに、当業務部門は以下の大型マナーを獲得しました: Mapfre (受託資産額は 600 億ユーロ)、および Actiam (受託資産額は 560 億ユーロ)。

コーポレートバンキング部門の営業収益は、全ての地域が順調な伸びを示したことから、当四半期に 9 億 9100 万ユーロに上り、前年同期比 6.7%の増収でした。手数料収入は、低迷した前年同期と比べて 19%の急増を遂げました。当部門は、アドバイザーサービス業務で 2017 年は好スタートを切り、航空機ファイナンス、輸出、および欧州におけるメディア・通信で着実な業績を収め、さらにトランザクションバンキング業務 (トレードファイナンス、キャッシュマネジメントなど) で目覚ましい成長を遂げました。融資残高は、当四半期に 1353 億ユーロに上り、前年同期から 7.2%増加しました。預金残高は、キャッシュマネジメントの高い伸びのおかげで当四半期に引き続き増加し、1328 億ユーロで前年同期比 20.5%の大幅増となりました。

CIB の営業費用は、事業の成長を反映して当四半期に 25 億 600 万ユーロに上りましたが、実施されたコスト削減策のおかげで前年同期比 11.0%の増加に留まり、大幅な正のジョーズ効果が生み出されました。

CIB のリスク費用は、戻入額が繰入額を上回ったことから、当四半期に相殺後で 5400 万ユーロの引当金戻入益が計上されました (前年同期は純額で 2800 万ユーロの引当金繰入額を計上)。とりわけコーポレートバンキング部門において、リスク費用は純額で 5700 万ユーロの引当金戻入益が計上されました (前年同期は純額で 5500 万ユーロの引当金繰入額を計上)。グローバルマーケット部門では、当四半期のリスク費用は純額で 300 万ユーロに留まりました (前年同期は純額で 2700 万ユーロの引当金戻入益を計上)。

これらを受けて、CIB の当四半期の営業利益は前年同期から 92.6%の激増を果たし、7 億 7000 万ユーロに上りました。

以上から、CIB は当四半期に極めて良好な業績を収め、税引前利益は 7 億 7800 万ユーロに上りました。また、2016 年度第 1 四半期の不利な市場環境と顧客業務の不振による低い水準との比較で、当四半期の税引前利益は前年同期比 93.0%の増益という快挙を遂げました。

*
* *

¹ Fixed Income, Currencies and Commodities

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は当四半期に 3 億 5800 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 6 億 1800 万ユーロが計上されました。当四半期の営業収益には、新韓金融持株会社株の売却により生じた一時的な影響として+1 億 4800 万ユーロの譲渡益が含まれており、また、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するために行う調整額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務評価調整額（Debt Value Adjustment: DVA）が合計で-700 万ユーロ含まれており（対して、前年同期は+3 億 6500 万ユーロ）、加えて、プリンシパル・インベストメンツから高水準の収益貢献がありました。

営業費用は当四半期に 3 億 800 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 1 億 8200 万ユーロが計上されました。当四半期の営業費用には以下の一時的要因が含まれています：一連の買収に関わる事業再編費用¹として 2000 万ユーロ（前年同期は 2300 万ユーロ）；事業改編費用として 9000 万ユーロ（前年同期は 2300 万ユーロ）。

リスク費用は当四半期に 1100 万ユーロとなりました（前年同期は純額で 900 万ユーロの引当金戻入益を計上）。

営業外項目は当四半期に 1100 万ユーロとなりました（前年同期は 3100 万ユーロ）。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当四半期に 4900 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 4 億 7500 万ユーロが計上されました。

*
* *

財務構造

グループは盤石なバランスシートを有しています。

バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率²は、2017 年 3 月末現在で 11.6%を若干上回っており、2016 年 12 月末の水準から 15bp 上昇しました。これには主に、ファースト・ハワイアン・バンクの株式の 20.6%を売却したことが貢献しています（+10 bp）。なお、かかるエクイティ Tier 1 比率は、配当性向 50%を前提にした比率です。

バーゼル 3 全面適用のレバレッジ比率³は Tier 1 資本全部に基づき算定されますが、同比率は 2017 年 3 月末で 4.1%となりました。

流動性カバレッジ比率（LCR）は、2017 年 3 月末現在で 125%となりました。

当グループの即時利用可能な余剰資金は、2017 年 3 月末現在で 3450 億ユーロに上りました（2016 年 12 月末は 3050 億ユーロ）。これは短期ホールセール資金調達との関係で、1 年超の余裕資金があることを意味します。

当グループの自己資本規制に関わる比率の推移は、当グループが規律をもってバランスシートを管理する能力を有していることを証明しています。

*
* *

¹ 特に LaSer、BGZ 銀行、DAB バンク、および General Electric LLD が影響

² 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮した比率。また、欧州議会・理事会規則（EU）No 575/2013 第 26 条第 2 項に従う

³ 2019 年に完全施行される CRD4 規則を経過措置なしで全て考慮し、また 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき算定された比率



以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は次のように述べています。

「株主帰属純利益の 19 億ユーロが示すように、**BNP** パリバは当四半期に極めて良好な業績を収めました。

事業部門の営業収益は、順調な事業成長を受けて大幅増収となりました。営業費用は十分抑制されるとともに、リスク費用が低下しました。

当グループのバランスシートは盤石であり、バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率が 11.6% へと引き続き上昇したことは、これを証明しています。

当四半期に好業績を収めたことで、良好な状況で 2017-2020 年度事業計画のスタートを切ることができました。これを可能にした **BNP** パリバの全従業員の貢献に感謝の意を表します。」

*
* *



連結損益計算書

	1Q17	1Q16	1Q17 / 1Q16	4Q16	1Q17 / 4Q16
(単位：百万ユーロ)					
営業収益	11,297	10,844	+4.2%	10,656	+6.0%
営業費用および減価償却費	-8,119	-7,627	+6.5%	-7,444	+9.1%
営業総利益	3,178	3,217	-1.2%	3,212	-1.1%
リスク費用	-592	-757	-21.8%	-950	-37.7%
営業利益	2,586	2,460	+5.1%	2,262	+14.3%
持分法適用会社投資損益	165	154	+7.1%	151	+9.3%
その他営業外項目	3	24	-87.5%	-146	n.s.
営業外項目	168	178	-5.6%	5	n.s.
税引前利益	2,754	2,638	+4.4%	2,267	+21.5%
法人税	-752	-720	+4.4%	-721	+4.3%
少数株主帰属純利益	-108	-104	+3.8%	-104	+3.8%
株主帰属純利益	1,894	1,814	+4.4%	1,442	+31.3%
コストインカム率	71.9%	70.3%	+1.6 pt	69.9%	+2.0 pt

BNP パリバの 2017 年度第 1 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースに含まれています。法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2017年度第1四半期 - コア事業別業績

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門				
(単位: 百万ユーロ)						
営業収益	3,807	3,909	3,223	10,939	358	11,297
	対前年同期比	+5.8%	+20.0%	+7.0%	-42.1%	+4.2%
	対前四半期比	+1.8%	+14.3%	+3.3%	n.s.	+6.0%
営業費用および減価償却費	-2,799	-2,506	-2,506	-7,811	-308	-8,119
	対前年同期比	+2.6%	+11.0%	+4.9%	+69.1%	+6.5%
	対前四半期比	+2.9%	+1.0%	+30.9%	-6.7%	+9.1%
営業総利益	1,008	1,404	717	3,129	49	3,178
	対前年同期比	+11.9%	+67.3%	+12.5%	-88.7%	-1.2%
	対前四半期比	-1.3%	-9.1%	-21.0%	n.s.	-1.1%
リスク費用	-319	-315	54	-581	-11	-592
	対前年同期比	-7.2%	n.s.	-24.2%	n.s.	-21.8%
	対前四半期比	-20.0%	n.s.	-35.1%	-79.5%	-37.7%
営業利益	689	1,089	770	2,548	38	2,586
	対前年同期比	+19.0%	+92.6%	+26.4%	-91.5%	+5.1%
	対前四半期比	+10.7%	-8.0%	-1.2%	n.s.	+14.3%
持分法適用会社投資損益	11	128	8	146	19	165
その他営業外項目	5	6	0	11	-8	3
税引前利益	705	1,222	778	2,705	49	2,754
	対前年同期比	+16.2%	+93.0%	+25.1%	-89.7%	+4.4%
	対前四半期比	+11.9%	-1.1%	-0.1%	n.s.	+21.5%

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門				
(単位: 百万ユーロ)						
営業収益	3,807	3,909	3,223	10,939	358	11,297
	前年同期	3,844	3,696	2,686	10,226	618
	前四半期	3,740	4,025	2,821	10,586	70
営業費用および減価償却費	-2,799	-2,506	-2,506	-7,811	-308	-8,119
	前年同期	-2,745	-2,442	-2,258	-7,445	-182
	前四半期	-2,719	-2,481	-1,914	-7,114	-330
営業総利益	1,008	1,404	717	3,129	49	3,178
	前年同期	1,099	1,254	428	2,782	435
	前四半期	1,022	1,544	907	3,472	-260
リスク費用	-319	-315	54	-581	-11	-592
	前年同期	-398	-339	-28	-766	9
	前四半期	-399	-425	-70	-894	-56
営業利益	689	1,089	770	2,548	38	2,586
	前年同期	701	915	400	2,016	444
	前四半期	623	1,118	837	2,578	-316
持分法適用会社投資損益	11	128	8	146	19	165
	前年同期	9	127	-3	133	21
	前四半期	13	116	9	138	13
その他営業外項目	5	6	0	11	-8	3
	前年同期	-2	10	6	14	10
	前四半期	-6	1	-5	-10	-136
税引前利益	705	1,222	778	2,705	49	2,754
	前年同期	708	1,052	403	2,163	475
	前四半期	630	1,236	841	2,707	-440
法人税						-752
少数株主帰属純利益						-108
株主帰属純利益						1,894

連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
グループ					
営業収益	11,297	10,656	10,589	11,322	10,844
営業費用および減価償却費	-8,119	-7,444	-7,217	-7,090	-7,627
営業総利益	3,178	3,212	3,372	4,232	3,217
リスク費用	-592	-950	-764	-791	-757
営業利益	2,586	2,262	2,608	3,441	2,460
持分法適用会社投資損益	165	151	163	165	154
その他営業外項目	3	-146	9	-81	24
税引前利益	2,754	2,267	2,780	3,525	2,638
法人税	-752	-721	-790	-864	-720
少数株主帰属純利益	-108	-104	-104	-101	-104
株主帰属純利益	1,894	1,442	1,886	2,560	1,814
コストインカム率	71.9%	69.9%	68.2%	62.6%	70.3%

(単位: 百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
リテールバンキングおよびサービス事業 PEL/CEL の影響を除く					
営業収益	7,719	7,758	7,735	7,636	7,522
営業費用および減価償却費	-5,305	-5,200	-4,813	-4,681	-5,187
営業総利益	2,414	2,558	2,922	2,956	2,335
リスク費用	-634	-824	-704	-740	-738
営業利益	1,780	1,733	2,218	2,216	1,598
持分法適用会社投資損益	139	130	140	124	136
その他営業外項目	11	-5	9	-2	8
税引前利益	1,930	1,858	2,367	2,339	1,742
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	50.6	49.0	48.8	48.6	48.7
(単位: 百万ユーロ)					
リテールバンキングおよびサービス事業					
営業収益	7,717	7,765	7,728	7,615	7,540
営業費用および減価償却費	-5,305	-5,200	-4,813	-4,681	-5,187
営業総利益	2,412	2,565	2,915	2,935	2,353
リスク費用	-634	-824	-704	-740	-738
営業利益	1,778	1,741	2,212	2,195	1,616
持分法適用会社投資損益	139	130	140	124	136
その他営業外項目	11	-5	9	-2	8
税引前利益	1,927	1,866	2,360	2,318	1,760
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	50.6	49.0	48.8	48.6	48.7
(単位: 百万ユーロ)					
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CEL の影響を除く					
営業収益	3,952	3,866	3,923	3,962	3,963
営業費用および減価償却費	-2,880	-2,794	-2,567	-2,449	-2,818
営業総利益	1,072	1,072	1,356	1,513	1,145
リスク費用	-319	-399	-329	-388	-399
営業利益	753	674	1,028	1,124	746
持分法適用会社投資損益	11	14	18	13	9
その他営業外項目	5	-6	8	2	-2
税引前利益	769	681	1,054	1,140	753
ウェルルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-61	-59	-61	-63	-63
国内市場部門税引前利益	707	622	993	1,076	690
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	23.8	23.0	22.9	22.9	22.9
(単位: 百万ユーロ)					
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	3,807	3,740	3,782	3,803	3,844
営業費用および減価償却費	-2,799	-2,719	-2,494	-2,378	-2,745
営業総利益	1,008	1,022	1,288	1,425	1,099
リスク費用	-319	-399	-327	-385	-398
営業利益	689	623	961	1,040	701
持分法適用会社投資損益	11	13	18	13	9
その他営業外項目	5	-6	8	2	-2
税引前利益	705	630	987	1,055	708
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	23.8	23.0	22.9	22.9	22.9

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)*					
営業収益	1,618	1,556	1,594	1,587	1,661
うち受取利息純額	909	907	916	879	972
うち手数料	708	649	678	709	689
営業費用および減価償却費	-1,184	-1,216	-1,178	-1,106	-1,173
営業総利益	434	340	416	481	488
リスク費用	-79	-124	-72	-72	-73
営業利益	355	215	345	408	415
営業外項目	0	1	0	1	1
税引前利益	356	217	345	409	416
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-39	-32	-34	-32	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	316	184	310	377	377
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	9.2	8.7	8.6	8.5	8.6

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く**					
営業収益	1,620	1,548	1,601	1,608	1,643
うち受取利息純額	912	899	923	900	954
うち手数料	708	649	678	709	689
営業費用および減価償却費	-1,184	-1,216	-1,178	-1,106	-1,173
営業総利益	436	332	423	502	470
リスク費用	-79	-124	-72	-72	-73
営業利益	358	208	351	430	397
営業外項目	0	1	0	1	1
税引前利益	358	209	351	430	398
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-39	-32	-34	-32	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	319	177	317	398	359
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	9.2	8.7	8.6	8.5	8.6

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	1,541	1,485	1,523	1,516	1,588
営業費用および減価償却費	-1,146	-1,178	-1,141	-1,068	-1,139
営業総利益	395	307	382	448	450
リスク費用	-79	-124	-71	-72	-73
営業利益	316	183	311	376	377
営業外項目	0	1	0	1	1
税引前利益	316	184	310	377	377
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	9.2	8.7	8.6	8.5	8.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

** PEL/CEL に関わる引当金：当該引当金は、住宅積立預金口座 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅預金口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から生じるリスクについて、口座の存続期間全体にわたり設定されている。

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
PEL/CELの影響	-2	8	-7	-21	18

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
BNL バンカ・コメルシアール(イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む)*					
営業収益	727	745	741	749	737
営業費用および減価償却費	-469	-543	-448	-433	-462
営業総利益	258	202	293	317	275
リスク費用	-228	-229	-215	-242	-274
営業利益	30	-27	78	74	1
営業外項目	0	0	0	0	0
税引前利益	30	-27	78	74	1
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-12	-10	-9	-9	-10
BNL バンカ・コメルシアール税引前利益	18	-36	70	65	-8
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
BNL バンカ・コメルシアール(イタリア国内プライベート・バンキングの 2/3を含む)					
営業収益	706	725	721	730	718
営業費用および減価償却費	-460	-533	-438	-423	-453
営業総利益	247	192	284	307	265
リスク費用	-228	-229	-214	-242	-274
営業利益	18	-36	70	65	-8
営業外項目	0	0	0	0	0
税引前利益	18	-36	70	65	-8
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む) *					
営業収益	931	908	914	923	917
営業費用および減価償却費	-823	-661	-575	-555	-791
営業総利益	108	247	339	367	126
リスク費用	1	-9	-19	-49	-21
営業利益	109	237	320	318	106
持分法適用会社投資損益	-4	2	5	5	-4
その他営業外項目	0	-1	-2	0	0
税引前利益	106	239	323	323	102
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-10	-17	-18	-21	-14
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	96	222	305	302	88
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.1	4.7	4.7	4.7	4.6

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 2/3を含む)					
営業収益	889	867	871	878	875
営業費用および減価償却費	-790	-636	-550	-534	-763
営業総利益	99	230	321	344	112
リスク費用	1	-10	-19	-46	-20
営業利益	99	221	302	297	92
持分法適用会社投資損益	-4	2	5	5	-4
その他営業外項目	0	-1	-2	0	0
税引前利益	96	222	305	302	88
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.1	4.7	4.7	4.7	4.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の 100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む)*					
営業収益	674	666	669	681	666
営業費用および減価償却費	-405	-374	-367	-355	-393
営業総利益	269	292	302	327	273
リスク費用	-14	-37	-23	-25	-31
営業利益	256	255	279	302	242
持分法適用会社投資損益	14	10	13	8	12
その他営業外項目	5	-6	10	3	-2
税引前利益	274	260	301	312	252
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	0	0	-1	-1
その他国内市場部門税引前利益	274	259	301	311	251
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	671	663	666	679	663
営業費用および減価償却費	-403	-372	-365	-353	-391
営業総利益	269	291	301	326	272
リスク費用	-14	-36	-23	-25	-31
営業利益	255	255	278	301	241
持分法適用会社投資損益	14	10	13	8	12
その他営業外項目	5	-6	10	3	-2
税引前利益	274	259	301	311	251
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位: 百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
国際金融サービス部門					
営業収益	3,909	4,025	3,946	3,813	3,696
営業費用および減価償却費	-2,506	-2,481	-2,319	-2,303	-2,442
営業総利益	1,404	1,544	1,627	1,510	1,254
リスク費用	-315	-425	-376	-355	-339
営業利益	1,089	1,118	1,251	1,155	915
持分法適用会社投資損益	128	116	122	111	127
その他営業外項目	6	1	1	-4	10
税引前利益	1,222	1,236	1,373	1,262	1,052
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	26.7	26.1	25.9	25.7	25.8
パーソナル・ファイナンス					
営業収益	1,201	1,185	1,177	1,168	1,149
営業費用および減価償却費	-634	-598	-544	-547	-609
営業総利益	568	587	632	621	540
リスク費用	-240	-269	-240	-248	-221
営業利益	328	317	392	373	319
持分法適用会社投資損益	20	18	18	-8	13
その他営業外項目	5	-2	0	-1	1
税引前利益	353	334	411	364	333
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.3	4.9	4.9	4.8	4.8
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの100%を含む) *					
営業収益	592	630	659	616	608
営業費用および減価償却費	-424	-431	-413	-429	-432
営業総利益	168	200	245	187	176
リスク費用	-67	-127	-127	-87	-96
営業利益	101	73	118	100	80
持分法適用会社投資損益	48	49	48	53	50
その他営業外項目	0	-1	0	-4	2
税引前利益	150	121	166	149	132
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	-1	0	-1	-1
欧州・地中海沿岸諸国税引前利益	149	120	165	149	132
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.0	5.2	5.2	5.2	5.1
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	590	628	656	614	606
営業費用および減価償却費	-423	-429	-411	-428	-431
営業総利益	167	199	245	187	176
リスク費用	-67	-127	-127	-87	-96
営業利益	100	72	118	100	80
持分法適用会社投資損益	48	49	48	53	50
その他営業外項目	0	-1	0	-4	2
税引前利益	149	120	165	149	132
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.0	5.2	5.2	5.2	5.1

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む) *					
営業収益	761	795	728	688	773
営業費用および減価償却費	-556	-521	-501	-482	-534
営業総利益	205	274	227	207	239
リスク費用	-22	-23	-14	-23	-25
営業利益	183	251	213	184	214
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他営業外項目	-1	4	1	1	10
税引前利益	182	255	214	184	225
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-5	-5	-4	-3	-3
バンクウエスト税引前利益	177	251	210	181	221
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	6.7	6.3	6.2	6.3	6.4
(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	748	782	716	677	762
営業費用および減価償却費	-548	-513	-493	-474	-526
営業総利益	200	269	223	203	236
リスク費用	-22	-23	-14	-23	-25
営業利益	178	246	209	180	211
営業外項目	-1	4	1	1	10
税引前利益	177	251	210	181	221
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	6.7	6.3	6.2	6.3	6.4
(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
保険					
営業収益	597	636	679	611	456
営業費用および減価償却費	-326	-315	-299	-278	-309
営業総利益	271	321	380	333	147
リスク費用	-1	-1	3	1	-1
営業利益	271	320	383	334	146
持分法適用会社投資損益	54	36	44	54	55
その他営業外項目	1	0	0	0	-3
税引前利益	326	356	427	387	199
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	7.8	7.5	7.4	7.4	7.4
(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ウェルス&アセット・マネジメント					
営業収益	773	794	718	743	723
営業費用および減価償却費	-576	-626	-572	-577	-567
営業総利益	198	168	146	166	156
リスク費用	14	-5	3	3	3
営業利益	212	163	149	169	159
持分法適用会社投資損益	5	13	12	13	8
その他営業外項目	0	0	0	0	0
税引前利益	217	176	161	181	167
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ホールセールバンキング事業 (CIB)					
営業収益	3,223	2,821	2,905	3,056	2,686
営業費用および減価償却費	-2,506	-1,914	-2,022	-2,115	-2,258
営業総利益	717	907	883	942	428
リスク費用	54	-70	-74	-46	-28
営業利益	770	837	809	896	400
持分法適用会社投資損益	8	9	2	13	-3
その他営業外項目	0	-5	1	-2	6
税引前利益	778	841	812	907	403
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	22.1	22.2	22.2	22.0	21.9
コーポレートバンキング					
営業収益	991	1,071	958	1,037	929
営業費用および減価償却費	-691	-567	-591	-601	-693
営業総利益	299	504	368	436	236
リスク費用	57	-115	-79	-42	-55
営業利益	356	388	289	394	181
営業外項目	7	14	-3	2	0
税引前利益	364	402	285	396	181
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	12.6	12.4	12.3	12.3	12.2
グローバルマーケット					
営業収益	1,754	1,284	1,490	1,558	1,318
うち FICC	1,174	838	1,082	1,050	890
うち株式およびプライムサービス	580	446	408	509	428
営業費用および減価償却費	-1,424	-967	-1,065	-1,139	-1,184
営業総利益	330	317	425	419	134
リスク費用	-3	44	5	-4	27
営業利益	327	361	430	415	160
持分法適用会社投資損益	0	-3	5	11	-4
その他営業外項目	0	-8	0	-2	6
税引前利益	326	350	435	424	163
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	8.7	9.0	9.1	9.0	9.1
証券管理					
営業収益	478	466	457	461	440
営業費用および減価償却費	-390	-380	-367	-374	-382
営業総利益	87	86	90	87	59
リスク費用	0	2	0	1	0
営業利益	87	87	90	88	59
営業外項目	0	1	1	0	0
税引前利益	88	88	91	87	59
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7



(単位：百万ユーロ)

	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
コーポレート・センター					
営業収益	358	70	-45	650	618
営業費用および減価償却費	-308	-330	-381	-295	-182
うち事業再編、変革および適応費用	-110	-154	-253	-108	-46
営業総利益	49	-260	-426	356	435
リスク費用	-11	-56	13	-5	9
営業利益	38	-316	-413	350	444
持分法適用会社投資損益	19	13	22	28	21
その他営業外項目	-8	-136	0	-77	10
税引前利益	49	-440	-391	301	475



連結貸借対照表 — 2017年3月31日現在

(単位: 百万ユーロ)	2017年3月31日	2016年12月31日
資産		
現金および中央銀行預け金	226,186	160,400
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	177,967	123,679
貸出金および売戻契約	187,799	152,242
純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定した金融商品	91,317	87,644
デリバティブ金融商品	272,369	328,162
ヘッジ目的デリバティブ	15,951	18,133
売却可能金融資産	255,527	267,559
金融機関貸出金および債権	49,187	47,411
顧客貸出金および債権	718,009	712,233
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	4,293	4,664
満期保有目的金融資産	6,107	6,100
当期および繰延税金資産	7,951	7,966
未収収益およびその他の資産	139,911	115,967
持分法投資	7,072	6,910
投資不動産	1,969	1,911
有形固定資産	22,737	22,523
無形固定資産	3,171	3,239
のれん	10,135	10,216
資産合計	2,197,658	2,076,959
負債		
中央銀行預金	3,489	233
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	91,196	70,326
借入金および買戻契約	245,795	183,206
純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定した金融商品	57,058	54,076
デリバティブ金融商品	270,455	318,740
ヘッジ目的デリバティブ	17,845	19,626
金融機関預金	97,227	75,660
顧客預金	801,381	765,953
負債証券	161,441	153,422
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	3,501	4,202
当期および繰延税金負債	3,127	3,087
未払費用およびその他の負債	110,042	99,407
保険会社の責任準備金	196,583	193,626
偶発債務等引当金	11,984	11,801
劣後債	19,252	18,374
負債合計	2,090,376	1,971,739
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	94,678	86,794
親会社株主帰属当期純利益	1,894	7,702
資本金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	96,572	94,496
資本に直接認識される資産および負債の変動	5,504	6,169
親会社株主資本	102,076	100,665
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	5,138	4,460
資本に直接認識される資産および負債の変動	68	95
少数株主持分合計	5,206	4,555
連結資本合計	107,282	105,220
負債および資本合計	2,197,658	2,076,959

代替的な業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第 223-1 条にもとづく開示

代替的な業績指標	定義	使用理由
事業部門営業収益	国内市場部門、国際金融サービス部門、ホールセールバンキング事業の営業収益の合計。 BNP パリバ・グループ営業収益=事業部門営業収益 + コーポレート・センター営業収益	BNP パリバ・グループの本業の業績を表す指標
PEL/CEL の影響を除く営業収益	PEL/CEL による影響を除く営業収益	PEL/CEL 口座から発生するリスクに対して、口座の存続期間全体にわたり引当金が設定されるが、これらの変動が及ぼす影響を排除した上で、当期の営業収益を表す指標
プライベート・バンキングの 100%を含む リテールバンキング事業の損益計算書	リテールバンキング事業の損益計算書であり、プライベート・バンキング業務の損益計算書の全部を含む	リテールバンキング事業の業績を表す指標であり、プライベート・バンキングの業績の全部を含む（プライベート・バンキングは、リテールバンキング (2/3) とウェルス・マネジメント (1/3) の共同責任のもとに置かれるが、その損益計算書を責任割合に基づき分割する前の 100%を含む）
リスク費用 ÷ 期首融資残高 (単位:bp)	リスク費用 (単位:百万ユーロ) を期首の融資残高で除したもの	事業体が負うリスクレベルの指標であり、融資残高を分母として算定し、%で表示
一時項目を除く株主帰属純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を排除した、BNP パリバ・グループの純利益に関する指標。排除される項目の主なものに、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するために行う調整額 (OCA)、デリバティブに関わる債務評価調整額 (DVA) に加え、事業改編・再編費用などがある
一時項目を除く自己資本利益率 (ROE)	算定式: 【一時項目および永久最劣後債に関わる支払を除いた株主帰属純利益の年換算後】 ÷ 【永久株主資本の期中平均残高】 (永久株主資本は、直接資本の部で認識される資産および負債の評価差額、永久最劣後債、永久最劣後債保有者に支払う税引後分配金、および予定される配当金を排除した、グループ帰属株主資本を指す)	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を排除した、BNP パリバ・グループの自己資本利益率に関する指標。排除される項目の主なものに、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するために行う調整額 (Own Credit Adjustment: OCA) およびデリバティブに関わる債務評価調整額 (Debt Value Adjustment: DVA) に加え、事業改編・再編費用などがある
一時項目を除く有形自己資本利益率 (ROTE)	算定式: 【一時項目および永久最劣後債に関わる支払を除いた株主帰属純利益の年換算後】 ÷ 【有形永久株主資本の期中平均残高】 (有形永久株主資本は、永久株主資本から、のれんおよび無形資産を除いたもの)	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を排除した、BNP パリバの有形自己資本利益率に関する指標。排除される項目の主なものに、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するために行う調整額 (OCA)、デリバティブに関わる債務評価調整額 (DVA) に加え、事業改編・再編費用などがある



比較分析 — 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

- 企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。
- 会社分割の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について自動的に排除する。
- 連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度、その他経費、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門： 以下の3部門から成る：

- 国内市場部門：フランス国内リテールバンキング（FRB）、BNL バンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング（BRB）、その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング（LRB））を含む
- 国際金融サービス部門（IFS）：欧州・地中海沿岸諸国、バンクウェスト、パーソナル・ファイナンス、保険、ウェルス&アセット・マネジメント（WAM）を含む。WAMには、アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、および不動産管理部門が含まれる
- ホールセールバンキング事業（CIB）：コーポレートバンキング部門、グローバルマーケット部門、証券管理部門を含む



着実な事業の成長およびエクイティ TIER 1 比率が引き続き上昇	2
リテールバンキングおよびサービス事業	4
国内市場部門.....	4
国際金融サービス部門.....	7
ホールセールバンキング事業 (CIB)	10
コーポレート・センター	11
財務構造.....	11
連結損益計算書	13
2017 年度第 1 四半期 – コア事業別業績.....	14
連結四半期業績の推移.....	15
連結貸借対照表 – 2017 年 3 月 31 日現在.....	24
代替的な業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM)	
フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第 223-1 条にもとづく開示	25

本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process : SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNP パリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。